

建築構造用炭素鋼管 JIS G 3475 STKN材

日本製鉄 (株)
日鉄鋼管 (株)

建築物の柱材等の主要構造部位に使用される鋼管です。

特長

1. SN材 (JIS G 3136) と同様に、鋼材が保有すべき建築特有の性能を規定した「建築構造専用」の鋼材です。
2. SN材での耐震性に関する規定に加えて、冷間成形ままの管に対して時効硬化を抑制するために、窒素 (N) の規定がなされています。
3. STK材 (JIS G 3444) と比べて、厚さのマイナス側許容差が厳しく規定されています。

鋼管仕様

STKN材とSTK材との比較

鋼種			強度・靱性			溶接性
JIS規格	種類の記号	適用厚さ (mm)	Δ YP、YR	vE	N	Ceq
G3444	STK400	—	—	—	—	—
G3475	STKN400W	2以上100以下	—	—	●	●
G3475	STKN400B	2以上100以下	●	●	●	●
G3444	STK490	—	—	—	—	—
G3475	STKN490B	2以上100以下	●	●	●	●

●：規定あり

—：規定なし

規格使用区分

種類	使用部位
STKN400W	塑性変形を生じない部材または部材に使用する
STKN400B	一般の構造部材または部位
STKN490B	◇

鋼管寸法

「建築構造用鋼管の寸法、質量および断面性能」をご覧ください。

製造可能範囲は、鋼管の強度と寸法、ならびに製造方法により異なりますので、別途、ご相談ください。

ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や復写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。